



日本維新の会は、年間@約2,056万円※×9名 約1億8,504万円議会費削減を目指す 議員提出第34号議案を提出 議員定数9名減を提案!! (令和4年6月13日)

新型コロナウイルス感染症や人口急減、超高齢化の進行等により、神戸市政は厳しい財政運営が続いており、これまで以上の決意とスピード感を持って、議会改革を進めていく必要があります。条例改正案は、直近の国勢調査結果に基づき、議員定数を人口が同規模の指定都市である福岡市、川崎市と同程度とするため、**現行の69名から9名減、すなわち定数を60名とするものです。**

※議員1名あたり年間@約2,056万円=議員報酬+政務活動費合計等

■議員提出議案 各会派賛否一覧

議案番号	件名	自民	公明	日本維新	共産	立民	つなぐ	共創・国民	国民・友愛	結果
議員提出 第34号議案	神戸市会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例の件	×	×	○	×	×	×	×	×	否決



▲第34号議案起立採決の様子。
起立し議案に賛成する日本維新の会。

主張!

日本維新の会は、「人口減に加えてコロナの影響もあり、議員定数を削減することで、**議員活動の質と量の向上**を図り、**ICTの利活用**など多様な手法をより積極的に取り入れ、**これまで以上に広く市民の声が反映された市政を推進すべき**」と考えます。

残念ながら、各会派の賛同は得られず、**否決**に。

「神戸市議会制度改革検討会」で維新・自公とも議員定数9名減を主張していたが、自公はなぜ4名減に変更したのか?



議案質疑の動画はこちら▶

可決!

9名削減案は否決…。しかし、日本維新の会は、議員定数削減を前に進めるためにも、**議員提出第36号議案 議員定数を4名減らす条例改正案に賛成。**

本会議では、定数を変更する3つの条例の改正案(第34、35、36号)が各会派から提出され、審議・採決の結果、現在**69ある定数を4名減らし、65名とする案**が賛成多数で**可決**されました。(令和4年6月13日)

■議員提出議案 各会派賛否一覧

議案番号	件名	自民	公明	日本維新	共産	立民	つなぐ	共創・国民	国民・友愛	結果
議員提出 第35号議案	神戸市会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例の件	×	×	×	○	×	○	×	×	否決
議員提出 第36号議案	神戸市会議員定数及び各選挙区選出議員数に関する条例の一部を改正する条例の件	○	○	○	×	○	×	○	○	可決

議員定数69名→65名に。
その後、更に5名減の60名に。

削減されることになるのは▽東灘区、▽北区、▽垂水区、▽西区の4つの区で、**それぞれ1議席**ずつ減り、来春の市会議員選挙から適用されます。

日本維新の会は、手を緩めることなく、引き続き議会改革を着実に進めてまいります。

可決!

国会議員の文通費の見直しを求める意見書が可決。

国会議員の文書通信滞在費及び立法事務費が問題になる中で、**制度の見直しを神戸市会から国に要望する意見書**を、日本維新の会神戸市会議員団が主導で議会に提出し、審査の結果、**全会一致で採択**されました。(令和4年3月28日) 意見書▶



実行!

寄付総額は約4,436万円に!!
(平成28年度～令和3年度)

我々日本維新の会神戸市会議員団では、各所属議員が議員報酬(手取り額)の2割に相当する**12万4,620円/月**を被災地等に寄付しています。

令和3年度 寄付総額……約1,500万円

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが**身を切る!**

身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した**最重要事項**です。公約である**議員報酬2割削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。



▲実績内容